

回覧

高内秀剛

TAKAUCHI SHUGO



2025.1.26(日) → 4.6(日)

開館時間：1月 9:30-16:30(最終入館は16:00まで) 2月～ 9:30-17:00(最終入館は16:30まで)

休館日：月曜(祝休日の場合は翌日)

主催：益子町文化のまちづくり実行委員会、益子陶芸美術館

協賛：益子町地域間交流協会

後援：下野新聞社、とちぎテレビ、栃木放送、エフエム栃木、ももか新聞plus

入館料：大人600円(550円)、小中学生300円(250円)※()内は20名以上の団体/65歳以上300円(要証明)

※ 今後の状況により、展覧会予定に変更が生じる場合がございます。最新情報は、当館ホームページ・Facebook・X・Instagram等でご確認ください。

益子陶芸美術館
Mashiko Museum of Ceramic Art

栃木県芳賀郡益子町益子3021
TEL：0285-72-7555
www.mashiko-museum.jp/



高内秀剛 《織部足付鉢》1993年

高内 秀剛

TAKAUCHI
SHUGO

高内秀剛は1937年東京に生まれました。高校卒業後は働きながら独学で作陶をはじめます。1967年に伝統工芸新作展で入選したことをきっかけに、1968年には会社勤めを辞め、栃木県益子町に移り住み築窯します。高内は益子という産地に縛られず、織部や志野、黄瀬戸をはじめ、象嵌や焼き締めなど様々な技法に取り組みます。そして高内らしさとも言える型にはまらない豪快な意匠で作品を彩っていきます。本展は大皿や大壺、茶碗や酒器など100点を超える作品を紹介し、その世界に迫ろうというものです。作品から湧き上がるエネルギーを感じる機会となれば幸いです。

2階展示室 スポットライト

「五味謙二」

2025年1月26日(日)～4月6日(日)

※ 高内秀剛展チケットで、五味謙二展、笹島喜平版画館もご覧いただけます。

アクセス ACCESS



【バス】東武宇都宮駅西口1番バス乗り場、JR宇都宮駅西口14番バス乗り場から関東バス益子行、またはJR秋葉原駅から茨城交通高速バス「関東やきものライナー」笠間・益子行で陶芸メッセ入口下車徒歩2分。

【鉄道】JR小山駅から水戸線下館駅下車、下館駅から真岡線益子駅下車徒歩25分。

【自動車】常磐自動車道友部JCT経由、北関東自動車道桜川筑西ICから20分。東北自動車道栃木都賀JCT経由、北関東自動車道真岡ICから25分。

※ 運行状況は各交通機関にご確認ください。

益子陶芸美術館

Mashiko Museum of Ceramic Art

栃木県芳賀郡益子町益子3021

TEL : 0285-72-7555

www.mashiko-museum.jp/



1. 《大皿》2014年頃
2. 《鼠志野茶碗》2005年
3. 《焼締香炉》
4. 《象嵌壺》
5. 《織部俎皿》2006年
6. 《椿文鉢》1988年
7. 《黒織部土鍋》2006年頃 益子陶芸美術館蔵
8. 《赤絵酒器揃》(片口 2022年頃)
9. 《黄瀬戸輪花鉢》